



熊本大学
Kumamoto University

データで見る 熊本大学

A LOOK AT KUMAMOTO UNIVERSITY
THROUGH DATA 2023

CONTENTS

1 理念・目的	1	7 課外活動	8	13 附属図書館	21
2 沿革・組織	2	8 学生支援	10	14 病院	22
3 学生数	3	9 研究	11	15 財務	23
4 入学状況	4	10 産学連携	14	16 職員	24
5 卒業後の進路	5	11 地域連携	16	17 キャンパス	25
6 教育	6	12 国際交流	19		

1 理念・目的

— 理念 —

本学は、教育基本法及び学校教育法の精神に則り、総合大学として、知の創造、継承、発展に努め、知的、道徳的及び応用的能力を備えた人材を育成することにより、地域と国際社会に貢献することを目的とする。

— 目的 —

教育

個性ある創造的人材を育成するために、学部から大学院まで一貫した理念のもとに総合的な教育を行う。

学部では、幅広く深い教養、国際的対話力、情報化への対応能力及び主体的な課題探求能力を備えた人材を育成する。

大学院では、学部教育を基盤に、人間と自然への深い洞察に基づく総合的判断力と国際的に通用する専門知識・技能とを身につけた高度専門職業人を育成する。

また、社会に開かれた大学として、生涯を通じた学習の場を積極的に提供する。



校章

研究

高度な学術研究の中核としての機能を高め、最先端の創造的な学術研究を積極的に推進するとともに、人類の文化遺産の豊かな継承・発展に努める。

また、総合大学の特徴を活かして、人間、社会、自然の諸科学を総合的に深化させ、学際的な研究を推進することにより、人間と環境の共生及び社会の持続可能な発展に寄与する。



熊本大学
Kumamoto University

コミュニケーションマーク

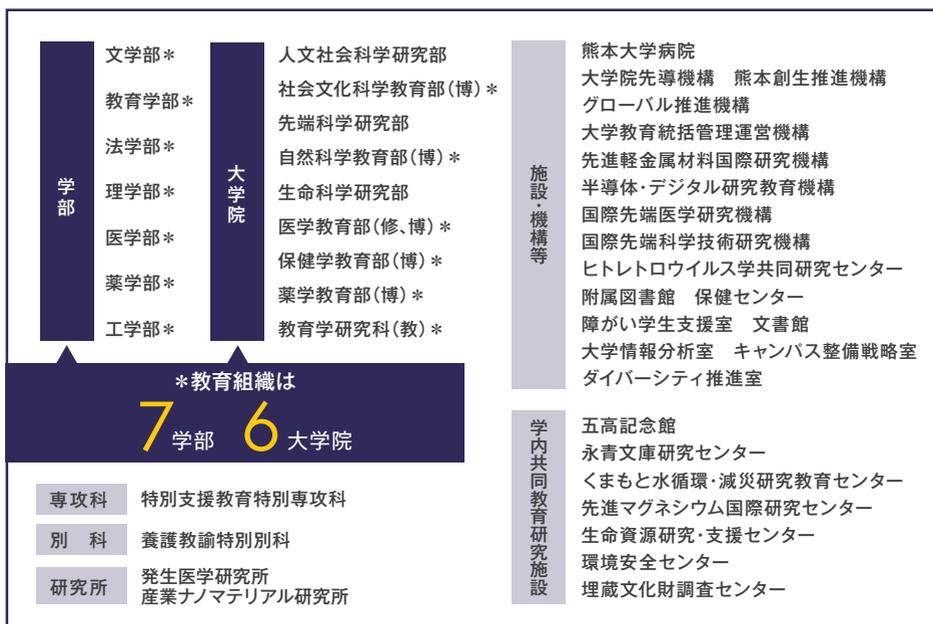
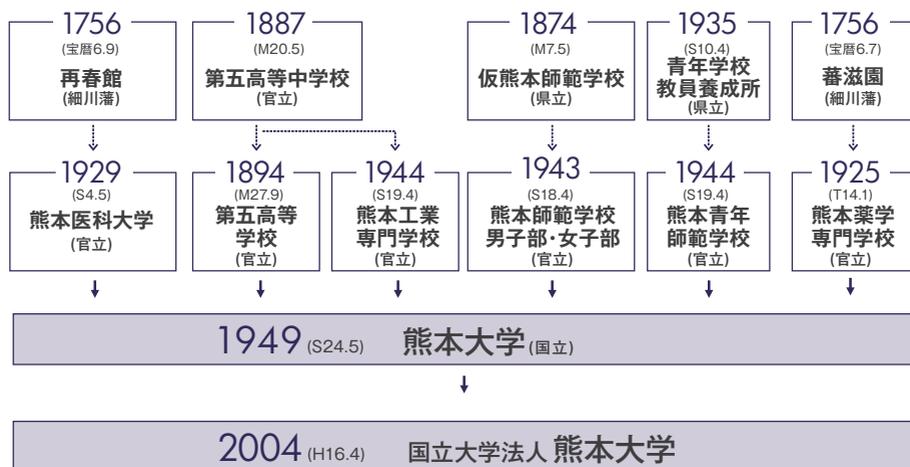
地域貢献・国際貢献

地方中核都市に位置する国立大学として地域との連携を強め、地域における研究中枢の機能及び指導的人材の養成機能を果たす。世界に開かれた情報拠点として、世界に向けた学術文化の発信に努めることにより、地域の産業の振興と文化の向上に寄与する。

また、知的国際交流を積極的に推進するとともに留学生教育に努め、双方向的な国際交流の担い手の育成を目指す。

2 沿革・組織

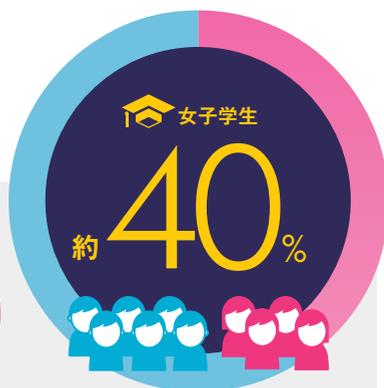
再春館から約 **260** 年 五高からの約 **130** 年の歴史と伝統
地域に根ざし、国際的に存在感を示す総合大学



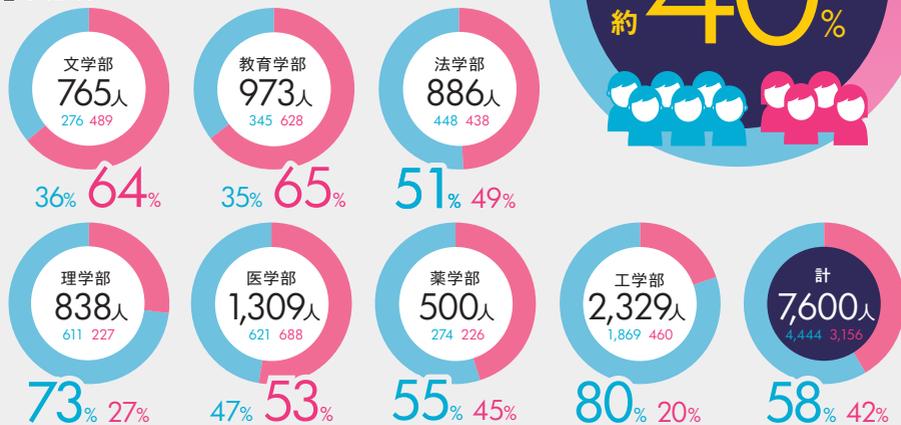
(R5.4.1現在)

3 学生数

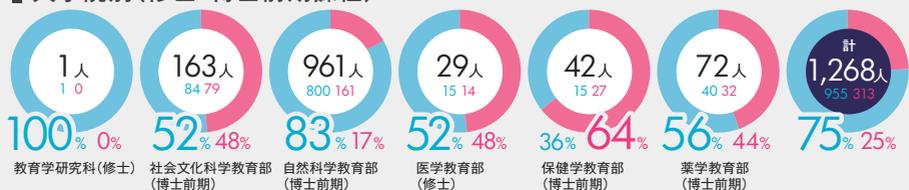
附属学校園を含め
10,961人 / 男子学生 **6,548**人 女子学生 **4,413**人



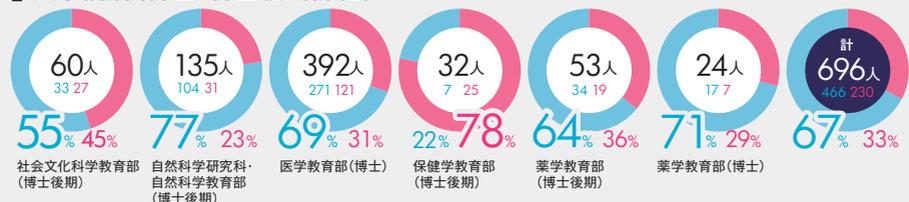
学部別



大学院別(修士・博士前期課程)



大学院別(博士・博士後期課程)



専門職大学院



専攻科・別科

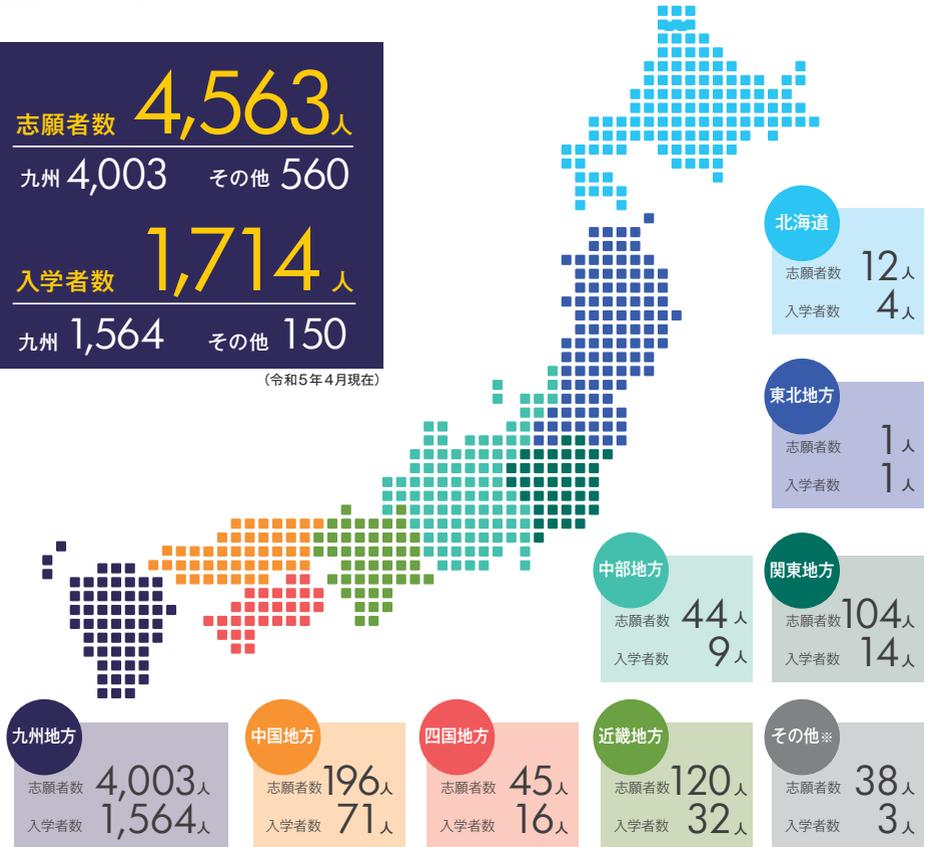
特別支援教育特別専攻科 14人
 養護教諭特別別科 44人
 計 58人

附属学校園

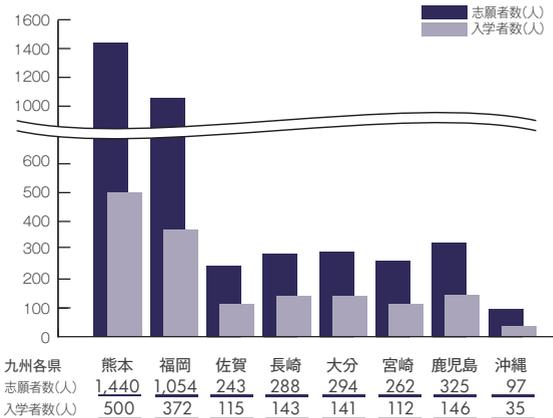
幼稚園 115人 中学校 474人
 小学校 641人 特別支援学校 59人
 計 1,289人

(R5.5.1現在)

4 入学状況



※高卒認定試験合格者、私費外国人留学生など

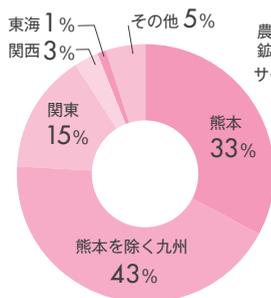


区分	入学定員	入学者
文学部	170人	175人
教育学部	220人	233人
法学部	210人	211人
理学部	200人	207人
医学部	医学科	110人
	保健学科	144人
薬学部	90人	96人
工学部	513人	532人
合計	1,657人	1,714人

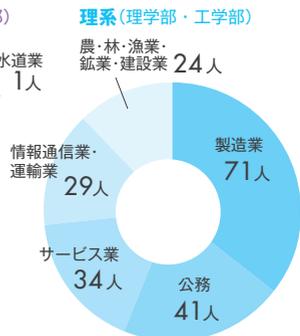
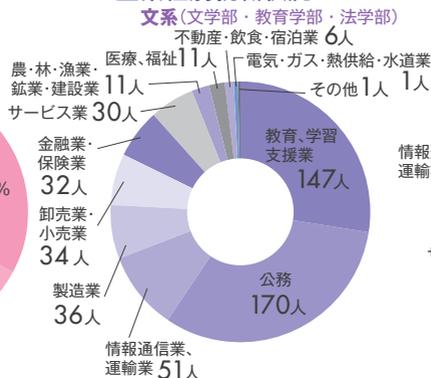
5 卒業後の進路



地域別就職状況



業種別就職状況



- 76%が熊本を含む地元九州で就職。
地域に貢献する人材を多数輩出しています。
- 公務員就職者数227名は九州トップクラスです。
- 令和4年度 学部卒業生(1,679人)の33%が大学院等へ進学。
理工系学部においては、65%が大学院へ進学しています。
- 学部卒業生の累計は、93,436人に達し、
社会の各方面で活躍しています。

6 教育

3 つのポリシー（一部抜粋）



熊本大学の教育目標に鑑み、所定の単位を修得し、以下の資質・能力を身に付けた者に学士の学位を授与します。

深い教養と高い専門性を基に我が国や国際社会の発展に貢献(寄与)するための論理的な思考ができる。

多様な文化や価値観を持った人々と知性的なコミュニケーションを取ることができる。

社会情勢の変化を理性的に察知し、社会の抱える課題解決に自らの専門力を応用できる。



熊本大学の目標を達成するために、学術性の高い教養教育、高度な専門教育及び地域の歴史・自然・文化に対する理解を深める教育を提供しています。各教育課程では、以下の方針に基づき教育カリキュラムを編成しています。

問題の本質を見極め論理的思考に基づき解決に導くために教養と専門をバランス良く学ぶことができる。

多様な文化や価値観を知り、グローバルな視点で考え、国際社会やその中にある地域で知性的に行動をするための知識と技能を身に付けることができる。

自ら目標を設定し、生涯に亘って様々な人々と協働して主体的に学ぶ姿勢を身に付けることができる。



熊本大学では次のような人を求めます。

主体的な学びを通して高い教養と専門性を身に付け、人類社会の発展に貢献したいと思う人。

多様な文化や価値観を寛容に受け入れ、理性的判断に基づく対話ができる人。

新しい課題に意欲的に取り組み、理性ある行動ができる人。

グローバルな視野を持ちつつ、地域社会や世界が抱える課題の解決に貢献する意欲を持つ人。



学位授与数
(令和4年度)

2,364人

学士 1,679人 修士 522人 博士 125人

教職修士(専門職) 38人

資格取得状況

学部	資格名	取得者数	学部	資格名	取得者数	学部	資格名	取得者数
文学部	中学校教諭	12	理学部	中学校教諭	11	工学部	中学校教諭	2
	高等学校教諭	22		高等学校教諭	24		高等学校教諭	7
	学芸員	20		学芸員	8		測量士補	40
教育学部	小学校教諭	184	医学部	医師国家試験	111		技術士補	293
	中学校教諭	162		看護師	75			
	高等学校教諭	136		保健師	16			
	特別支援学校教諭	33		助産師	10			
	幼稚園教諭	22		診療放射線技師	39			
	養護教諭	30		臨床検査技師	33			
	社会福祉士	2	薬学部	薬剤師	41			

6 教育

教員一人あたりの
学生数

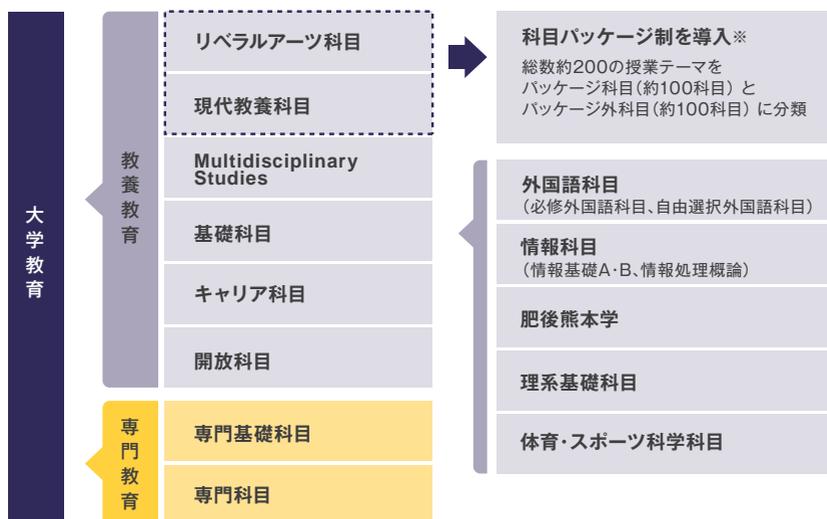
(令和5年5月1日現在)

10.4人



深い学びを保証する熊本大学の教養教育

熊本大学における教育体系



※教養教育科目パッケージ制(体系的な文理クロス履修)

「リベラルアーツ科目」及び「現代教養科目」の複数の科目を体系的なつながりをもったパッケージとして構成し、文系学部の学生は自然・生命学系、理系学部の学生は人文・社会学系の中から、興味関心のあるパッケージを1つ選択し、パッケージ内の科目10単位の中から6単位以上を履修します。

文学部・教育学部・法学部の学生

第1パッケージ 環境を考える	第2パッケージ 命を見つめる
第3パッケージ 自然に触れる	第4パッケージ 安全・安心に暮らす

理学部・医学部・薬学部・工学部の学生

第5パッケージ 人間を探究する	第6パッケージ こころを科学する
第7パッケージ 歴史を探究する	第8パッケージ ことばを科学する
第9パッケージ 世界を探究する	第10パッケージ 社会を科学する

7 課外活動

紫熊祭実行委員会 熊本大学大学祭「紫熊祭」の実行委員会

体育会公認サークル

- | | | |
|--------------|-------------|-----------|
| 合気道部 | 柔道部 | バトミントン部 |
| アイスホッケー部 | 準硬式野球部 | 男子バレーボール部 |
| アーチェリー部 | 少林寺拳法部 | 女子バレーボール部 |
| アメリカンフットボール部 | 水泳部 | 男子ハンドボール部 |
| 空手道部 | ボート部 | 女子ハンドボール部 |
| 弓道部 | ソフトテニス部 | フォークダンス部 |
| 剣道部 | 体操競技部 | 舞踏研究部 |
| 航空部 | ダイビング部 | 硬式野球部 |
| 硬式庭球部 | 卓球部 | ヨット部 |
| 古武道部 | 馬術部 | ラグビー部 |
| サッカー部(男子・女子) | 男子バスケットボール部 | 陸上競技部 |
| 自動車部 | 女子バスケットボール部 | 吹奏楽部 |



文化部会公認サークル

- | | | | |
|----------------|----------------|------------------|-------------|
| クラシックギタークラブ | ロック研究会 | 文芸部 | アコースティック研究会 |
| マンドリンクラブ | 写真部 | 演劇部 | クイズ研究会 |
| フィルハーモニーオーケストラ | モダンジャズ研究会 | C3(異文化サークル) | 百人一首同好会 |
| 合唱団 | 映画研究部(Cinelab) | こんべいとう(漫研) | |
| 邦楽部 | 探検部 | 天文部 | |
| 五葉会(茶道) | 将棋部 | 放送部 | |
| フォークソング研究会 | 書道部 | 麻雀部 | |
| 熊本大学新聞社 | 美術部 | Higo-Pella(アカペラ) | |



[学部公認サークル]

法学部公認サークル

志法会

医学部公認サークル

- | | |
|------------|------------|
| 医学部バレーボール部 | 医学部アンサンブル部 |
| 医学部弓道部 | 医学部茶道部 |
| 医学部東洋医学研究会 | 医学部バドミントン部 |
| 医学部準硬式野球部 | 医学部漕艇部 |
| 医学部フットサル部 | 医学部ALS部 |
| 医学部華道部 | 国際社会医療研究会 |
| 医学部薬学部卓球部 | 他 |

医学部保健学科公認サークル

くまびあ 医学部保健学科バドミントンサークル
医学部保健学科硬式庭球部 オレンジプロジェクト from K

薬学部公認サークル

- | | | |
|--------|-----------|---------|
| テニス部 | バレー部 | アンサンブル部 |
| 準硬式野球部 | バスケットボール部 | 軽音部 |
| サッカー部 | バトミントン部 | |

工学部公認サークル

からくりサークル ソーラーカープロジェクト
熊本大学学生災害復旧支援団体「熊助組」
盲学校用教材開発サークルSoleil(ソレイユ)
Kumamoto university Metaverse Architect(KuMA)

7 課外活動

課外活動における学生の活躍(令和4年度)

【団体】

団体名	活動内容	種目等名	成績
熊本大学 ECR プロジェクト	乾電池自動車レース Ene1 Challenge	大学・高専・専門学校クラス部門	優勝

【個人】

サークル名	氏名	所属	大会等名	種目等名	成績
弓道部	平原 百花	文学部1年	第46回女子東西学生弓道選抜対抗試合		準優勝
テコンドー部	倉留 大明	自然科学1年	第18回全九州学生テコンドー選手権大会	男子 軽量級	優勝
アーチェリー部	井上 陽登	理学部1年	第57回九州学生アーチェリー新人選手権大会	初心者男子の部	優勝
アーチェリー部	渡邊 優斗	理学部4年	第44回九州学生国立大学定期戦	男子	優勝
アーチェリー部	岩崎 瑞季	工学部2年	第44回九州学生国立大学定期戦	女子	優勝
アーチェリー部	加藤 旭	文学部1年	第23回九州学生室内アーチェリー選手権大会	ルカープ男子の部	優勝



令和4年度学生表彰式

8 学生支援



学生支援室

医師……………	2人	臨床心理士	1人
キャンパス ソーシャルワーカー	1人	事務職員	1人



学生相談室

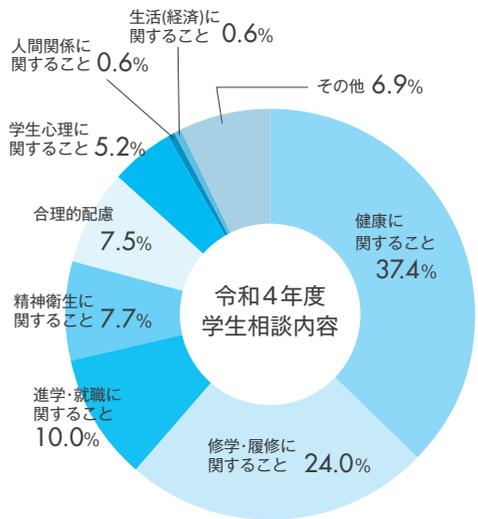
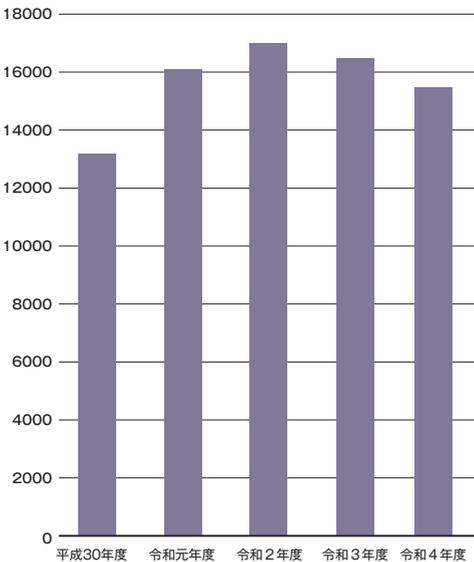
キャンパスソーシャルワーカー	1人
事務職員……………	2人



保健センター

医師……………	3人	看護師……………	3人
臨床心理士…	1人	公認心理師…	1人
キャンパスソーシャルワーカー……………	1人		

学生相談件数(のべ件数)



9 研究

学術論文被引用数

29位(国内) 

- クラリベイト社「Essential Science Indicators」データベースを基に作成。
- データは、2013年1月～2023年4月の10年間の論文被引用数に係るデータ。
- 本ランキングは、大学のみならず研究所や企業などの研究機関も含んだ研究機関ランキングであり、大学ランキングではない。

【被引用数順位(対象:世界8,579機関)】

国内順位	世界順位	機関名	論文数	被引用数	平均被引用数	国内順位	世界順位	機関名	論文数	被引用数	平均被引用数
1	78	東京大学	94,748	1,975,713	20.85	16	782	神戸大学	18,920	310,312	16.4
2	147	京都大学	66,585	1,332,397	20.01	17	817	国立がん研究センター	9,684	286,561	29.59
3	270	大阪大学	51,045	887,386	17.38	18	832	自然科学研究機構	13,024	280,481	21.54
4	286	東北大学	50,608	852,180	16.84	19	888	千葉大学	16,360	261,073	15.96
5	328	理化学研究所	29,053	751,122	25.85	20	899	岡山大学	16,333	257,063	15.74
6	363	名古屋大学	38,818	674,043	17.36	21	983	早稲田大学	14,959	228,065	15.25
7	378	九州大学	38,153	643,307	16.86	22	1,025	大阪公立大学	15,456	219,673	14.21
8	414	科学技術振興機構	18,922	591,735	31.27	23	1,033	東京医科歯科大学	12,852	218,284	16.98
9	418	北海道大学	36,992	587,727	15.89	24	1,060	東京都立大学	7,582	209,919	27.69
10	556	東京工業大学	26,524	447,087	16.86	25	1,124	金沢大学	12,832	195,782	15.26
11	559	物質・材料研究機構	16,212	443,538	27.36	26	1,148	横浜市立大学	9,538	191,428	20.07
12	563	産業技術総合研究所	24,576	440,576	17.93	27	1,185	信州大学	10,344	184,433	17.83
13	567	筑波大学	26,185	437,153	16.69	28	1,194	新潟大学	11,370	182,481	16.05
14	612	慶應義塾大学	23,226	401,564	17.29	29	1,202	熊本大学	11,447	181,149	15.83
15	752	広島大学	22,285	321,133	14.41	30	1,309	近畿大学	7,682	161,657	21.04

論文数の推移



- クラリベイト社「InCites Benchmarking」を基に作成。
- 2013年～2022年の論文(Article, Review)が対象。

9 研究

熊本大学では、国際的に卓越した先導的研究、個性と創造性のある研究、活力ある学際的研究を推進していくことを目標に定めています。これらの研究を推進するしくみとして、3つの事業を実施しています。

国際先端研究Σプロジェクト

国際的に卓越した教育研究拠点を形成し世界をリードする人材育成を実施してきた実績を持ち、本学を代表する世界最高水準の先導的・先導的研究拠点を形成しています。同拠点を中心としたプロジェクトにおいて学際的研究や研究組織の充実、多様な若手研究者の育成、共同利用・共同研究拠点の機能強化によってさらなる研究領域の拡大と高度化を図るための取組に対して支援します。

発生医学と幹細胞生物学の国際先端研究強化プロジェクト
国際先端ウイルス感染症研究Σプロジェクト
二次元ナノマテリアル先端研究形成プロジェクト
先進軽金属材料の教育研究プロジェクト

認定件数

4件



めばえ研究推進事業NEO

学術の既成概念や方向を大きく変革・転換しうる大胆で挑戦的な研究と、将来の本学を代表しうる研究を活性化することを目的に支援します。

採択件数

18件

クロスフロンティア研究推進事業

これまでの学術の体系や方向を大きく変革・転換しうると期待される分野横断型グループの基礎研究を支援することで、大学全体の学術水準の向上や若手研究者の育成につながる研究領域の創成を目指します。

採択件数

8件

9 研究

科学研究費(科研費)

「科研費」の
採択件数

21位
(全国)

本学の
採択件数 **694**件

本学の採択金額
17億6,254万円
(直接経費+間接経費)



【令和4年度 採択件数の機関別順位】

順位	機関名	採択件数	合計(千円)	順位	機関名	採択件数	合計(千円)
1	東京大学	4,010	21,126,820	12	早稲田大学	1,062	2,689,440
2	京都大学	3,025	14,142,821	13	岡山大学	1,036	2,912,650
3	大阪大学	2,592	10,098,249	14	金沢大学	988	2,424,785
4	東北大学	2,480	10,117,380	15	千葉大学	950	2,414,750
5	九州大学	2,062	6,949,150	16	東京工業大学	913	4,329,585
6	名古屋大学	1,821	7,773,090	17	国立研究開発法人理化学研究所	833	5,075,850
7	北海道大学	1,703	5,996,120	18	新潟大学	786	1,791,790
8	筑波大学	1,379	4,337,186	19	順天堂大学	718	1,406,730
9	広島大学	1,280	2,981,810	20	東京医科歯科大学	704	1,706,510
10	神戸大学	1,148	2,989,480	21	熊本大学	694	1,762,540
11	慶應義塾大学	1,097	3,645,333	22	日本大学	693	1,074,840

※令和4年度科学研究費のうち、「特別推進研究」、「新学術領域研究(研究領域提案型)」、「計画研究、公募研究及び成果取りまとめ経費」、「学術変革領域研究(A)」、「計画研究及び公募研究」、「学術変革領域研究(B)」、「計画研究」、「基盤研究」、「挑戦的萌芽研究」、「挑戦的研究」、「若手研究」、「研究活動スタート支援」及び「国際共同研究加速基金(国際先導研究及び国際共同研究強化(B))」について分類。

10 産学連携

アジアで最も
イノベティブな
大学ランキング

国内 **10**位

ロイターHP「Asia Pacific's Most Innovative Universities -2019」に基づく

大学発
ベンチャー企業数
ランキング

全国 **29**位(30社)

令和4年度産業技術調査事業(イノベーション創出を目指した事業会社からの事業切出し手法及び大学発ベンチャーの実態等に関する調査)

共同研究・受託研究

熊本大学では、産業界との連携を図るため、「熊本大学熊本創生推進機構」を窓口として、共同研究、受託研究を推進しています。

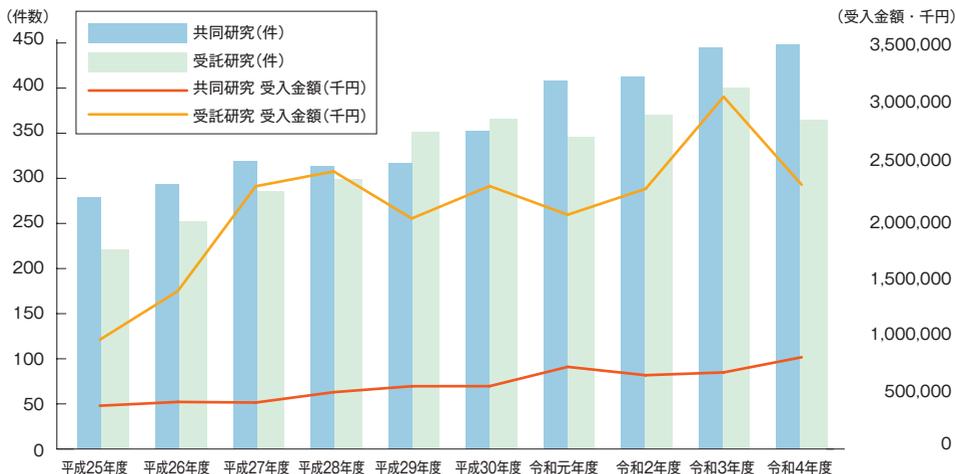
令和4年度実績

共同研究 **447**件

合計金額 **7億9,954**万円

受託研究 **364**件

合計金額 **22億7,913**万円



10 産学連携



寄附講座等 奨学を目的とする民間等からの寄附により設置・運営し、教育研究の充実をはかります。 (R5.4.1現在)

部局名	寄附講座名称
大学院生命科学研究部	画像診断解析学寄附講座
	免疫・アレルギー・血管病態学寄附講座
	糖尿病・代謝病態解析学寄附講座
病院	医薬品包装学寄附講座
	不整脈先端医療寄附講座
	心血管治療先端医療寄附講座
	新生児学寄附講座
	脳血管障害先端医療寄附講座
	地域医療・総合診療実践学寄附講座
	消化器癌先端治療開発学寄附講座
	次世代外科治療開発学寄附講座
	地域医療連携ネットワーク実践学寄附講座
	産科麻酔学寄附講座
	新興感染症対策寄附講座
	先進脊椎疾患治療学寄附講座
	感染症対応実践学寄附講座
心臓リハビリテーション寄附講座	
国際先端医学研究機構	造血幹細胞工学寄附講座
ヒトレトロウイルス学共同研究センター	臨床レトロウイルス学寄附講座
大学院先導機構	フロンティアデータサイエンス化血研寄附講座

共同研究講座等 民間機関等からの共同研究経費を有効に活用して、本学の自主性及び主体性の下に設置運営し、本学の教育研究の進展及び充実をはかります。 (R5.4.1現在)

部局名	共同研究講座名称	共同研究相手先
大学院生命科学研究部	画像動態応用医学共同研究講座	キヤノンメディカルシステムズ株式会社
	再春館・自然×サイエンス共同研究講座	株式会社再春館製薬所
	サイエンスファーム 生体機能化学共同研究講座	サイエンスファーム株式会社
	再春館・先進老化医学共同研究講座	株式会社再春館製薬所
	心血管予防医学共同研究講座	医療法人社団陣内会陣内病院
大学院先端科学研究部	先進運動器疾患病態学共同研究講座	医療法人財団聖十字会西日本病院
	あつまる新シルク蚕業開発共同研究分野	株式会社あつまるホールディングス
	半導体プロセス評価共同研究分野	ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社
ヒトレトロウイルス学共同研究センター	抗ウイルス療法・血液疾患研究共同研究講座	一般財団法人化学及血清療法研究所
生命資源研究・支援センター	生殖工学共同研究分野	九動株式会社
産業ナノマテリアル研究所	ワンタイムエナジー共同研究講座	株式会社ダイセル

11 地域連携

包括的連携協定等

地域とともにある大学をめざし、積極的な社会貢献活動を行うため、自治体・研究機関・企業等と、48の連携協定を締結しています。大学の人材や知的財産を地域の活性化や課題解決に活かします。

(R5.6.1現在)

	機 関	協定締結年月日
自治体等	天草市（旧本渡市）	平成17年 8月 23日
	葦北郡芦北町	平成18年 12月 4日
	熊本市	平成19年 4月 26日
	水俣市	平成19年 8月 4日
	熊本県 一般社団法人アジア法務サポートセンター	平成24年 11月 30日
	菊池市	平成26年 8月 18日
	益城町	平成29年 4月 12日
	荒尾市	平成29年 9月 22日
	公益財団法人阿蘇地域振興デザインセンター	平成29年 12月 18日
	合志市	平成30年 12月 12日
	熊本県	平成31年 2月 20日
	南阿蘇村	令和元年 8月 30日
	多良木町	令和2年 12月 21日
	八代市	令和3年 3月 2日
	玉名市	令和3年 8月 3日
	研究機関等	財団法人阿蘇火山博物館久木文化財団
放送大学		平成22年 11月 20日
北陸先端科学技術大学院大学		平成28年 7月 27日
国立研究開発法人産業技術総合研究所		平成28年 9月 20日
国立研究開発法人産業技術総合研究所		
国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構		平成29年 3月 17日
熊本県		
国立大学法人東京大学先端科学技術研究センター 熊本県		平成29年 4月 10日
国立大学法人鹿児島大学		平成29年 10月 26日
国立大学法人鹿児島大学		平成31年 3月 18日
国立研究開発法人科学技術振興機構		
※熊本地方創生推進協議会（会長：熊本大学長）として締結		令和2年 4月 1日
国立大学法人富山大学		令和3年 3月 15日
学校法人東海大学		令和4年 1月 11日
企業等	富士電機システムズ株式会社	平成17年 8月 23日
	DOWA ホールディングス株式会社	平成19年 2月 16日
	株式会社熊本日日新聞社	平成23年 2月 23日
	特定非営利活動法人 NEXT 熊本	平成23年 4月 13日
	不二ライトメタル株式会社	平成23年 9月 1日
	熊本県 不二ライトメタル株式会社 株式会社日本医療機器技研	平成27年 9月 28日
	熊本県 株式会社肥後銀行 一般社団法人熊本県工業連合会 株式会社リバナエス	平成28年 2月 9日
	日立造船株式会社 熊本県	平成28年 2月 15日
	平田機工株式会社	平成28年 8月 8日
	熊本県 熊本県商工会議所連合会 ミュージックセキュリティーズ株式会社	平成28年 12月 26日
	熊本県商工会連合会 熊本県中小企業団体中央会 熊本県中小企業家同友会	
	株式会社あつまるホールディングス	平成29年 5月 9日
	熊本市 熊本県立大学 株式会社 NTT ドコモ	平成30年 10月 22日
	日本ユニシス株式会社	平成30年 12月 12日
	九州産業交通ホールディングス株式会社 株式会社マイスティア	平成31年 4月 17日
	株式会社肥後銀行	令和3年 6月 30日
	株式会社三菱 UFJ 銀行	令和3年 11月 10日
	株式会社熊本銀行	令和4年 2月 1日
	KM バイオロジクス株式会社	令和4年 2月 16日
	株式会社テレビ熊本	令和4年 3月 7日
熊本経済同友会	令和4年 5月 9日	
GE ヘルスケア・ジャパン株式会社	令和4年 10月 25日	
株式会社ダイセル	令和5年 5月 8日	

11 地域連携

地域再生人材育成塾(未来創造塾)

地域課題や企業課題と地域資源を結びつけ、ローカルイノベーションが沸き起こる共創の場づくりとして、地場企業の若手経営者や後継者らを対象とした「地域再生人材育成塾」を開講しています。現在、熊本県内6つの地域(八代市、阿蘇広域、天草市、玉名市、菊池市、山鹿市)並びに和歌山県田辺市、富山県南砺市にて開講し、産学官金の新たな共創の場は、8拠点に拡大しています。自治体との共催事業である新たなりカレント教育として、地域企業の事業承継・第二創業を産学官金が連携支援し、地域の持続的な発展を目指しています。

令和4年度

地域再生人材育成塾の修了生

70人

熊本県外で実施している地域人材育成塾の修了生も含む。
令和4年度までの地域再生人材育成塾の修了生(累積人数)は218人。



さくち未来創造塾修了式の様子(令和4年開講)



未来創造塾2022 合同講義の様子(11/4開催)

地域再生人材育成塾に参加した塾生のコメント



神園さん(運輸業)

新しいことを始めるときには色々な入口、考え方があります。私は、自分がやっている会社や仕事の意義や意味から、地域の課題を考えました。「どんな課題が会社にマッチングするのか」を追求し、会社・自分がどうありたいかという思いで新しい事業を考えました。

未来創造塾は、それを形にできる場所であり、さらに塾生・産学官金の関係者の方々から後押ししてくれます。私はその力を最大限活用して、塾で考えたプランを自信をもって実行していきたいと思っています。



鹿山さん
(一般社団法人)

講師の方々のお話は、実践例などが分かりやすく、事業を組み立てていく上ですごく参考になりました。課題の把握を行い、地域課題は見方を変えると強みになり得ることに気が付きました。明確な正解というものがないなかでどれだけ試行(思考)していくかが大切だと学ばせて頂きました。今回に参加させていただいたことで沢山の有難いお話やご縁をいただき、本当に参加出来て良かったと修了した今強く感じております。今後は「阿蘇ヨガプロジェクト」を通して阿蘇地域でヨガが出来る!という選択肢を増やしていきたいと思っています。

11 地域連携

生涯学習

開かれた大学づくりと多様な制度で、社会人の方の生涯学習をお手伝いしています。

正規課程の学生として (社会人学生)

社会人特別入試

社会人を積極的に大学の正規の課程の学生として受け入れるため、一般の志願者とは異なった特別の選抜方法を行う制度です。筆記試験を免除又は軽減し、小論文や面接等を中心として、経験や勉学意欲を見ることに主眼をおいた選考を行います。

昼夜開講制

社会人が入学後、正規の課程で容易に学習できるよう、平日の昼間だけでなく夜間等にも授業や研究指導を行う制度です。社会人の勤務・生活形態に応じた学修が可能となるように履修方法、授業時間帯に配慮しています。

正規課程以外の学生として (研究生・科目等履修生)

研究生

本学の学部または大学院において、特定の専門事項について研究を行う学生です。入学後は、定められた期間、特定の指導教員の下で研究を行います。

科目等履修生

本学の学部や大学院の授業科目のひとつ又は複数を受講する学生です。通常の学生と同様に、期末試験等を受けてその科目の単位を修得することが可能です。この単位は、後に大学に入学した場合、修得した単位として認定されることがあります。

公開講座、授業開放、知のフロンティア講座など、地域の皆様へ様々な学習機会を提供しています。

令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン講座を中心に開催しました。(授業開放は中止)

公開講座

9 講座



受講者数

347 人



(令和4年度実績)

知のフロンティア講座

4 講座



受講者数

444 人 (令和4年度実績)



大学の地域貢献度調査
総合ランキング



国内 7 位

日本経済新聞社「日経グローバル」421号
(令和3年10月4日発行)に基づく

令和4年度

学生ボランティア参加者数(のべ人数)

422 人

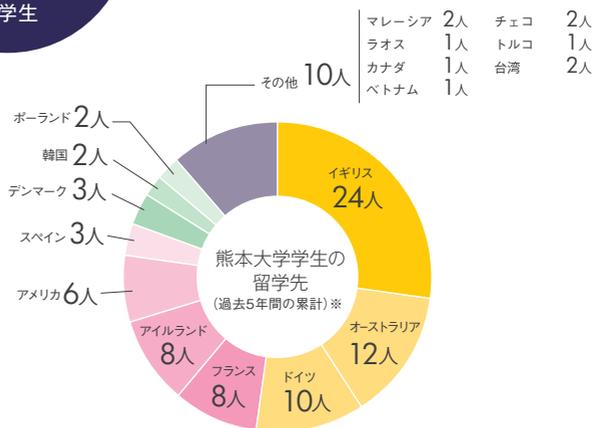
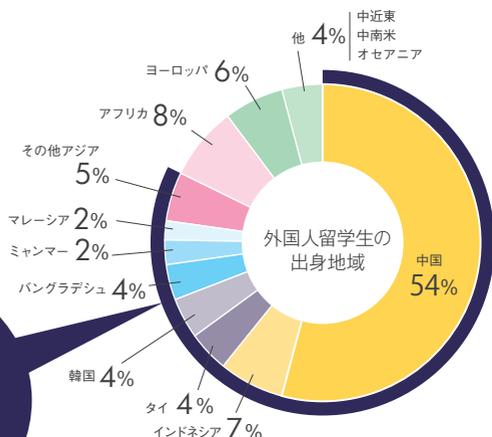
12 国際交流

■ 国際交流協定

熊本大学は、地域のグローバル化を牽引する大学として、「地域と世界をつなぐグローバル大学 Kumamoto」のスローガンのもと、アジア地域、欧米のトップ大学との交流を積極的に推進しており、世界の54カ国・地域、277機関と国際交流協定を締結しています。

(令和5年5月現在)

■ 留学生の派遣・受け入れ



※学術交流協定または学生交流協定を締結している大学への3ヶ月以上1年以内の派遣のみの集計

■ 研究者の派遣・受け入れ

令和4年度は、333人の研究者を海外に派遣し、379人の研究者を受入れるなど、活発に国際交流を行っています。

12 国際交流

8カ国・地域 8つの海外オフィス

留学生に関する業務、本学と外国の研究者による共同研究、学術・教育交流の推進及び本学の情報発信等を行う海外の拠点として、海外オフィスを設置しています。

熊本大学韓国KAISTオフィス



熊本大学台湾南台オフィス



熊本大学インドネシアITSオフィス
国立六大学スラバヤ事務所



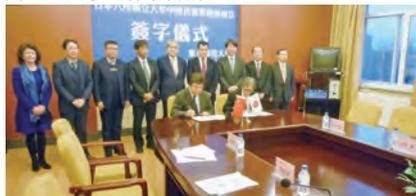
熊本大学スーダンオフィス



熊本大学タンザニアオフィス



国立六大学長春事務所



国立六大学欧州事務所



国立六大学バンコク事務所



13 附属図書館



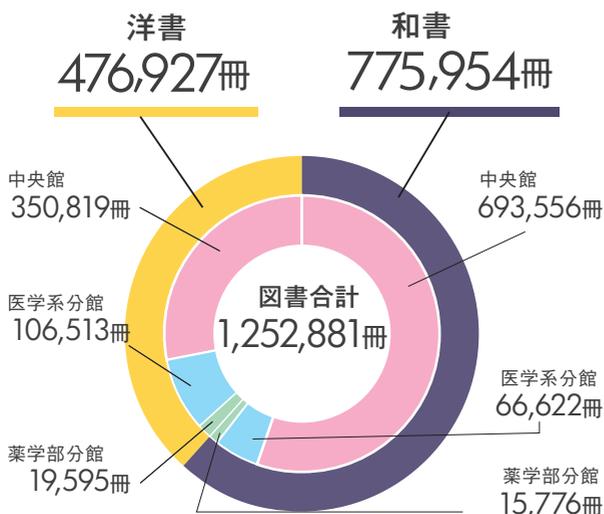
蔵書数 

125 万冊以上

電子ジャーナル 

14,000 タイトル以上

附属図書館は、中央館（黒髪北キャンパス）、医学系分館（本荘キャンパス）、薬学部分館（大江キャンパス）の3館で構成され、コロナ禍においても合わせて年間約20万人の入館者と、約55,000冊の館外貸し出しがあります。（令和4年度実績）



中央館は平日午後10時まで開館し、中央館および医学系分館は土日・休日も開館するなど、社会人や地域の方にも積極的に学習の機会を提供します。開館時間の詳細はホームページをご覧ください。

<https://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/>



熊本大学学術リポジトリにより、本学の研究者が作成した論文や学会発表資料などの学術研究成果物、約17,000件を、電子的な形態で保存し、インターネット上で世界に向けて公開しています。

<https://kumadai.repo.nii.ac.jp/>



中央館は平成24～25年度に改修工事を行い、会話しながら学ぶラーニングコモンズを設置しました。ラーニングコモンズではセミナー等も開催、一般市民の方も参加されています。

14 病院



診療科

33科



ベッド数
合計

845床



病院職員

2,207人



(R5.6.1現在)

診療状況

(令和4年度)

外来



のべ患者数

353,120人

1日平均患者数

1,453.2人

入院



のべ患者数

246,646人

1日平均患者数

675.7人

- 病院は、県下で唯一の特定機能病院として、また地域医療の最後の砦として、地域の医療機関との緊密なネットワークのもとに、難治性疾患の治療や臓器移植をはじめとする高度な医療の実践に取り組んでいます。また「都道府県がん診療連携拠点病院」、「エイズ治療中核拠点病院」、「熊本県基幹型認知症患者医療センター」、「熊本県肝疾患診療連携拠点病院」など、種々の疾患の治療における地域の中核的な役割を担っています。
- 病院では、最高レベルの医療を安全に提供するために、手術支援ロボット(ダヴィンチXi)や新生児用救急車の導入、ハイブリッド手術室の設置など最先端の診療基盤の整備を進めるとともに、診療体制の強化を進めています。

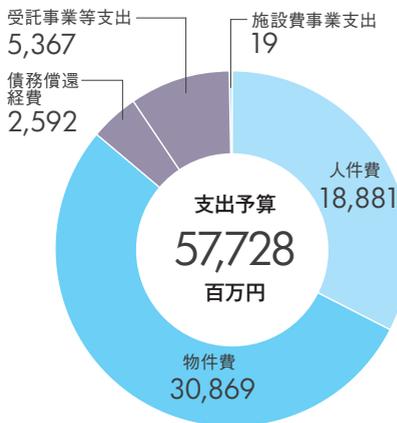
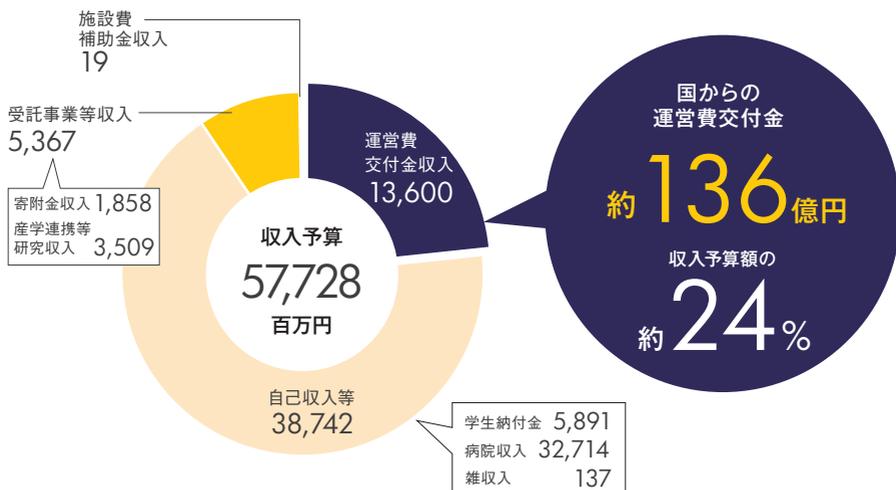
15 財務

収入・支出予算額



令和5年度の
予算額は

577 億円



国民一人あたりの負担額 **88円**
(令和4年度)

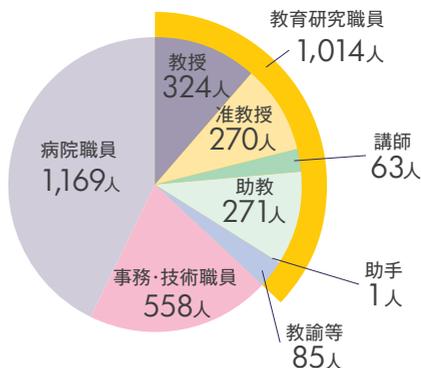
※業務実施コスト÷総人口(12,457万人)
(令和5年3月1日現在確定値:総務省統計局)

16 職員



(R5.5.1現在)

※育児休業者等を含む。
 ※有期雇用職員、再雇用職員等を除く。
 ※教員には個別契約職員を含む。



男女比

■職員全体

男性 / 女性

1,359人 / 1,382人



■事務・技術職員

男性 / 女性

315人 / 243人



■病院職員

男性 / 女性

222人 / 947人



■教授

男性 / 女性

292人 / 32人



■准教授

男性 / 女性

214人 / 56人



■講師

男性 / 女性

54人 / 9人



■助教

男性 / 女性

211人 / 60人



学内保育施設等

- ・こばと保育園(本荘キャンパス)
- ・大学病院院内保育所(本荘キャンパス)
- ・大学病院病児保育室「Mimi」(本荘キャンパス)
- ・託児ルーム(黒髪キャンパス)



こばと保育園



託児ルーム

17 キャンパス

熊本大学は、黒髪キャンパス、本荘キャンパス、大江キャンパスの3つのキャンパスをはじめとする約68万㎡の総面積をもち、本学のシンボルである五高記念館は重要文化財に指定されています。このほかにも、重要文化財や登録文化財となっている建物や、保存・活用されている施設があり、これらの建物・施設・資料等からなる熊本大学博物館の実現を目指しています。



①五高記念館*



②化学実験場*



③表門(赤門)*



④工学部研究資料館*
*重要文化財

黒髪キャンパス

■黒髪北地区

〒860-8555 熊本市中心区黒髪2丁目40番1号
TEL.096 (344) 2111

■黒髪南地区

〒860-8555 熊本市中心区黒髪2丁目39番1号
TEL.096 (344) 2111



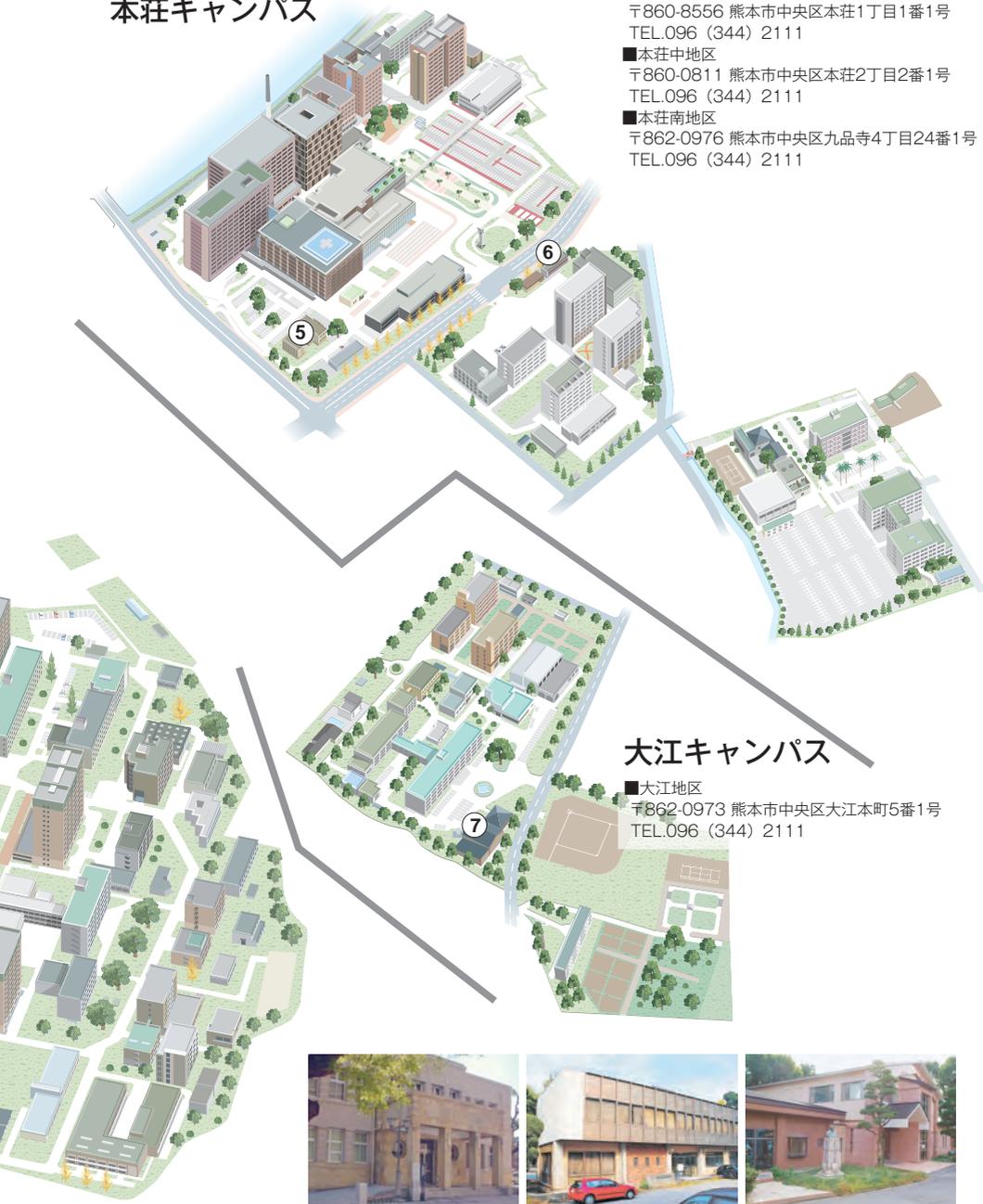
黒髪北地区	169,619㎡
教育学部東教場	26,375㎡
黒髪南地区	115,176㎡
本荘北・中地区	110,054㎡
本荘南地区	25,761㎡
大江地区	53,352㎡
京町地区	51,547㎡

城東町地区	4,632㎡
大江総合運動場	39,752㎡
合津マリンステーション	5,697㎡
地域共同ラボラトリー	19,945㎡
その他	58,552㎡

合計	680,462㎡ (R5.5.1現在)
----	------------------------

本荘キャンパス

- 本荘北地区
〒860-8556 熊本市中央区本荘1丁目1番1号
TEL.096 (344) 2111
- 本荘中地区
〒860-0811 熊本市中央区本荘2丁目2番1号
TEL.096 (344) 2111
- 本荘南地区
〒862-0976 熊本市中央区九品寺4丁目24番1号
TEL.096 (344) 2111



大江キャンパス

- 大江地区
〒862-0973 熊本市中央区大江本町5番1号
TEL.096 (344) 2111



⑤山崎記念館
(登録有形文化財)



⑥肥後医育ミュージアム
(肥後醫育記念館)



⑦熊薬ミュージアム
(熊薬同窓会館)

創造野菜挑戦野菜

井上雄彦 記す



国立大学法人 熊本大学

〒860-8555

熊本県熊本市中央区黒髪 2-39-1

TEL.096-344-2111 (代表)

<https://www.kumamoto-u.ac.jp>

